

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 5' 10"	
				経度	134° 24' 26"	
第2水防橋 (フリガナ) ダイスイホウキョウ	町道高原4号線	名西郡石井町高原字平島				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
石井町	2016.9.5	河川	有	一般道	-	無

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (株)環境防災				点検責任者 梯 義文		
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	剥離	写真1、主桁10		
	横桁					
	床版	II	遊離石灰	写真2、床版01		
下部構造	I					
支承部	II	腐食	写真3、支承211			
その他	II	舗装の異常、凹凸、腐食、破断、劣化、鉄筋露出、ひびわれ	写真4~10、路面、防護柵、 地覆 防護柵(取合部)			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) II	(所見等) 主桁に部分的な剥離が見られる。床版に間詰部からの遊離石灰が見られる。支承に腐食が見られる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)



架設年次	橋長	幅員	起点		終点
不明	27m	3.10m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁10)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真1</p> 	<p style="text-align: center;">上部構造(床版01)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p> 
<p style="text-align: center;">支承部(支承211)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真3</p> 	<p style="text-align: center;">その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の



○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真5</p> 	<p style="text-align: center;">その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真6</p> 
<p style="text-align: center;">その他(防護柵 取合部)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真7</p> 	<p style="text-align: center;">その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真8</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】	その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真9</p> 	<p>写真10</p> 
【判定区分: 】	【判定区分: 】